

記入日 2020 年 11 月 14 日

一般社団法人日本薬学生連盟 2021 年度支部長立候補申請書

立候補者氏名	金久絵理奈
立候補する役職	関東支部長
大学/学部/学科	東京薬科大学 薬学部 (薬学科)
学年	2 年
所属	関東支部本部、学術委員会、交換留学委員会、外務部、財務部、協力団体 HARVEST
日本薬学生連盟での活動経歴	2019 年度 関東支部本部、学術委員会、薬学教育委員会 所属、関東 FREEM 企画長 2020 年度 関東支部本部、学術委員会、交換留学委員会、外務部、財務部 所属、とまらない薬学生の知識領域～音楽療法編～企画長
立候補動機	私は昨年度の関東新歓で日本薬学生連盟に加入し、現在まで約 1 年半様々な活動をしてきました。 今までの活動を通して団体の魅力を先輩方から沢山伝えていただき、自分は、先輩方から受け継いだこの団体を更にもっと多くの人に広め、団体の魅力を伝える立場になりたいと思ったため、日本薬学生連盟の入り口である『支部』長に立候補させていただきました。
問題点と改善案	今年度は、イベントが対面で行えずすべての活動がオンライン上になってしまったことも起因して、新入生歓迎会で新しい会員(特に 1 年生)を獲得することが例年より難しく、今年度からの新会員は例年より少ない印象です。また、今年度は例年と比較して活動を制限されることが多く、思うような活動ができず団体内で活発に活動しているメンバーが減ってしまったようにも感じます。 新会員の確保は非会員者を新歓に呼び込み、新歓内で薬連の魅力や存在を伝えると新加入率が上がると考えております。非会員者の呼び込みは、既存の会員の協力を促し多くの会員に呼び込んでもらうことによって実現させるしかありませんが、魅力を分かってもらうことで会員を増やし、会員が増えると更に呼び込めるチャンスも広がっていきます。外部の団体に最初に踏み込んでいくのはハードルが高いため、一步を踏み出し参加して下さる非会員者には少なからず何かを求め来人が多いと思うため、参加して下さった非参加者にどんなニーズがあるのかを理解して、団体に引き込みやすい魅力を発信できるよう努めます。 団体内で活発に活動しているメンバーが減ってしまった原因は、活動のやり方が変わってから皆がやりたい/活動しやすい環境づくりがうまくできなかったためだと感じています。来年度から活動制限がどの程度課されるかはまだ先が読めませんが、今年度の異常事態を経験して漸く今のやり方にも慣れてきた頃なので、所属しているメンバーには今年度よりも手厚いフォローを行うことによって活動するやる気を皆から引き出していきます。来年度は例年通りの活動ができるのであればより一層やる気をみなぎらせるチャンスなので、活動制限が戻り次第出だしを大事に積極的に勢いづけていこうと思います。 また、今までは企画を立てるハードルが高く、皆大きな企画を作る自信がなく尻込みしていた部分も感じているため、来年度からはしっかりと大きな企画だけでなく、皆が気軽に企画を作れるような雰囲気も作っていこうと考えています。例年、特に新支部メンバーは企画の作り方が分からないため自ら企画を作るという発想がない人も多いため、来年度の新歓後に関東支部本部内で企画の作り方等を教える機会を設けるとともに、最初に支部本部内で交流することによりお互いに関東支部本部のメンバーを知ったうえで通年活動をしやすい環境を提供します。
活動計画	(対面での活動可能な場合) 4 月 新入生歓迎会 5 月 関東支部交流会 6 月 関東交流会(BBQ など) 8 月 関東支部合宿 10 月 薬学生フェスティバル 12 月 関東 FREEM 2 月 関東支部合宿 3 月 年会

所信

来年度、私が関東支部長をやる上で、『日本薬学生連盟を関東の薬学生に広め、日本薬学生連盟の魅力を伝え、日本薬学生連盟で活発的に活動したいと思ってくれる学生を増やすこと』が、常に念頭に置こうと思っている所信です。

私は入会してから今までの約 1 年半、日本薬学生連盟で様々な活動に携わってきた中で一番感じていることは、団体に所属している薬学生は皆大学の外へ飛び出して活動しているため、芯があり、意思を持ち、行動力が非常に高い学生が多いということです。私は、この団体に入る以前、大学内に以上の条件を備えた自分が尊敬できる人物が全くないと感じ、人間関係が楽しめずとても苦労しました。しかし、大学生は自分の大学に籠もるのではなく、自ら行動すればいくらかでも学外に飛び出していけることを教えていただいたことがあり、そこから私の価値観、世界を見る目ががらりと変わりました。

自分の大学内の限られた学生だけでなく全国に目を向けられるようになり、自分が知らなかっただけで、まさに私が尊敬できる人は学外へ飛び出してみるといくらかでも感じることを受けると同時に、今までの自分の視野の狭さを痛感しました。

日本薬学生連盟で活動している学生には、非常に感心させられ、感化され、「自分もそんな風になりたい！」と強く思い、私は周りの学生からかなり良い影響を与えていただきました。自分を変えてくれたこの団体と周りの学生には本当に感謝していて、今度は自分自身が他の薬学生に影響を与えられる人間になりたいと考えるようになりました。また、昔の私のように視野が狭い薬学生に新しい世界を見せて、私が救ってもらったように他の薬学生も救われて欲しいと思います。

個人単位でも、団体の魅力を発信したり、人と人を繋ぐことにより視野を広げて救ってあげることが可能ですが、影響力に限界があります。その点、関東支部本部といういわば『団体の入り口』のリーダーになることによって、より私が伝えたい日本薬学生連盟の魅力を発信しやすいと考えました。

今まで、新歓をはじめとするイベント企画に非会員が参加しても加入まで至らないことや、入会はしてもその後の活動には参加しない人を沢山見てきました。彼らには、団体の魅力が伝わらず非常に残念だと感じていて、初参加のイベント時にもっと魅力を伝え、入会後はフェードアウトさせず引き込んでいく力(サポート)が必要だと思います。それを一番行いやすいのは支部の長です。

もっと沢山のの人に日本薬学生連盟の魅力を分かってもらい、引き込んでいくことによって、より日本薬学生連盟全体の活気をみなぎらせ、関東地域(関東支部本部)だけでなく団体全体への貢献を必ず行うつもりですので、応援よろしくお願い致します。